



にゅうどうやま

山武市立成東小学校
山武市成東 2692
TEL (82) 2755

(学校教育目標) 心豊かでたくましい児童の育成 ～一人一人の良さを伸ばす～

6年生平和学習「青い目の人形」



本校の来賓玄関を入るとすぐ、アリス・プレーブルという名の青い目の人形が飾られています。今から100年ほど前、日米友好を願って米国から日本に12739体の「青い目の人形」が贈られました。当時、小学校などに配られましたが、太平洋戦争が始まると「敵国の人形」としてその多くが処分され、国内に現存するのは300体ほどになってしまいました。そのうちの1体が本校に保管されています。

この人形にまつわる秘話を、山武郡市で平和活動を推進している房総の会の皆さんが紹介してくださいました。紙芝居は、本校出身であり本校元教諭の並木久栄さんが手作りしたものです。並木さんが、小学6年生の時、当時の宿直室を掃除していた時、押し入れの中からこの人形を見つけました。そのことをお母さんに話すと、戦時中の話を聞かせてくれたそうです。

成東小の教諭だったお母さんは、この人形を守りたいという思いで、空襲警報が鳴るたびに、一緒に避難したそうです。しかし、戦時下では、この人形は「敵国の人形」です。「あんなに喜ばれて迎えられたのに、何で急に人形の運命が変わらなければならないのか。お母ちゃんはかわいそうで、かわいそうで。」人形との楽しい思い出があったお母さんは、苦しかった胸の内を語ったそうです。また、当日は、92歳になる成東在住の竹内さんもお越しになり、戦争の体験談を語ったり、子どもたちからの質問に答えたりしてくださいました。「この歳になっても、戦争で見たことや体験したこと、その時の気持ちは今も胸に焼き付いていて忘れられない」と語っていました。6年生は、社会科で学習したばかりの戦争について、考えを深める機会になったようです。



なお、この学習については、2月11日付け朝日新聞に掲載されました。



こんな活動もありました



～3年 人権教室②～

聴覚障害者について理解を深めるために、ボランティアセンターから講師の方々を招き、手話を教わったり、質問に答えてもらったりしました。

体験活動では、どうしたら相手に伝わるかと考えながら、チーム対抗で友だちに手話で単語を伝えるゲームをしました。

ジャスチャーを使ったり、肩を叩いたり工夫しながら、伝えることを体験しました。



～避難訓練・不審者対応について～

1月29日(水)に、警察の方々をお招きして、不審者対応について避難訓練を実施しました。訓練実施後、体育館で事後指導をしていただきました。とっさの判断で行動するためには、日頃から訓練を重ねることが大切だということでした。

その後、職員の研修を行い、異常の早期発見・早期避難・児童の避難誘導についてご指導をいただきました。